## 念禱「あなたが私を 祝福するまで、私は あなたを離しませ ん」(I)

シリーズ: 戦い、親しさ、使 命 (5)

念禱「あなたが私を祝福するまで、私はあなたを離しません」 (Ⅰ)

あるクリスマスの夜、ミサにおいて 御聖体を手にしたとき、聖ジャす。 でしたとき、聖ジャす。 彼は微笑み、涙し、イエスからていまる の時を引きつめています。 を注意深く見つけていたする がなナシオは証言していますよ。 でした。その後、再び涙を流した。 た微笑みを浮かべていました。 祭 儀の終わりに、彼はその時何が起ったのか尋ねたところ、アルスの司祭は飾らずに答えました:「頭を考えが浮かんだのです。とがでいました・『もなたを永遠に見ることがでったをいう不幸に私が陥ると知ったをもいるのでもなたを手にしているのでもの。あなたを手にしているのでもの。と」 III。

夜が明けてしまうから』とその人は 言ったが、ヤコブは答えた『いい え、祝福してくださるまでは離しま せん』。『お前の名は何というの か』とその人が尋ね、『ヤコブで す』と答えると、その人は言った。 『お前の名はもうヤコブではなく、 これからはイスラエルと呼ばれる。 お前は神と人と闘って勝ったから だ』。『どうか、あなたのお名前を 教えてください』とヤコブが尋ねる と、『どうして、わたしの名を尋ね るのか』と言って、ヤコブをその場 で祝福した。ヤコブは、『わたしは 顔と顔とを合わせて神を見たのに、 なお生きている』と言って、その場 所をペヌエル(神の顔)と名付け た。ヤコブがペヌエルを過ぎたと き、太陽は彼の上に昇った。ヤコブ は腿を痛めて足を引きずっていたし (創世記32・25-32)。

## 「何か言ってください、イエス よ、何か言ってください |

私たちは、祈りの時間に心を静めて 観想の祈り(念禱)をするたびに、 一種の戦いに入ります。「この神 は、敵対者でも敵でもありません。 つねに神秘のうちにとどまり、近づ きがたいように思われる、祝福をも たらす主です。そのため、聖書作者 は戦いという象徴表現を用いまし た。戦いは、魂の力、望むものに堅 忍と粘り強さをもって近づこうとす ることを表します」「27。「念禱とは イエスへと注ぐ信仰のまなざしで す」ぼ。それはイエスを探し求め、 探し続け、祝福をもらうまで、つま り「イエスのまなざしの光」が「わ たしたちの心の目を照らしょすま で、主から目を離さないまなざしで す。

私たちはそのまなざしに何を求める のでしょうか?イエスの御顔、思

い、平和、心の火…。そしてもしそ の祈りの時間に、私たちが望む出会 いが与えられなければ、そうなるま で忍耐強く待つ覚悟が私たちにはあ ります。「暇があるときに念禱をす るのではなく、主に心を向けて過ご すための時間を作るのです。そのと きには、(…) 主から一刻も気をそ らさないという固い決心が要りま す」「5」。「念禱はたまものであり、 恵みです。謙虚で自分の貧しさを 知っている者でなければいただくこ とができないものです」「6」。まさに それゆえに、神は私たちの忍耐を必 要とします。私たちが「主よ、私は ここにいます...私は動きません、ど こにも行きません | と言うことを必 要としているのです。「何か言って ください、イエスよ、何か言ってく ださい」と、聖ホセマリアが祈りの 中で時折繰り返していたように

「つ。

- [1] F. トロシュ『アルスの司祭、聖 ジャン=マリー・ヴィアンネ』(F. Trochu, Le Curé d'Ars Saint Jean-Marie Vianney, Lyon-París, 1925, p. 383)参照。
- [2] ベネディクト十六世、一般謁見 演説、2011年5月25日。
- <u>[3]</u> カトリック教会のカテキズム、 2715番。
- [4] 同。
- [5] 同、2710番。
- [6] 同、2713番。
- [7] 聖ホセマリア、内的覚書、1935 年12月12日および1937年12月20日 (apuntes íntimos, 12-XII-1935, citado en A. Vázquez de Prada, El fundador del Opus Dei (vol. 1), Rialp, Madrid, 1997, p. 582; apuntes íntimos, 20-XII-1937,

citado en Camino, edición críticohistórica, nota al n. 746) 参照。

Ricard Sada

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/combat-closeness-mission5-1/(2025/12/16)